２０２３年度
通 常 総 会 資 料

日　時：2023 年 6 月 18 日（日）
15：00～16：00
会　場：オンライン

■　次　第

１．　開会の辞

２．　議長・書記・議事録署名人の選出

３．　議題

第 1 号議案
2022 年度事業報告及び決算報告承認の件
1）2022 年度事業報告について
2）2022 年度決算報告について
3）2022 年度事業及び決算の監査結果について

第 2 号議案
2023 年度事業計画及び予算の承認の件
1）2023 年度事業計画について
2）2023 年度予算について

その他

４．　閉会の辞

３１１当事者ネットワーク ヒラエス

第１号議案　2022 年度　事業報告及び決算報告について

１）2022 年度　事業報告について

２０２２年４月１日から２０２３年３月３１日まで

（１）　事業内容・成果

＜はじめに＞

今年度は２つの助成金（Ⓐ Yahoo!基金　2022年度被災地復興調査助成金　Ⓑラッシュチャリティポット復興支援活動助成金）に応募し事業を展開した。

ヒラエスの事業の３つの柱

①『つながる』　・ネットワーク事業（全国の支援団体をつなぐ場づくり）
　　・ワークショップ事業（当事者性をもった安全な語り合いの場づくり）

②『まなぶ』　・セミナー事業（当事者・支援者が共に学び合う場づくり）

③『つたえる』　・フォーラム事業（経験をちからへと転化するために伝える場づくり）

①『つながる』

・ネットワーク事業（全国の支援団体をつなぐ場づくり）

これまでもネットワーク会議と称し、「支援の本質とは何か？」を議題としながらその答えを模索してきた。その過程で2020年度には全国の当事者の生の声を基に質的統合法（KJ法）により分析した「広域避難者当事者の体験とこころの内側（本音）（「言葉のかけら」が語る未来～冊子P6～P7参照）を生み出し、それを基に支援に必要な要素を分析し可視化した「被災・避難当事者支援の考察結果」（「言葉のかけら」が語る未来～冊子P9参照）を得ることはできたが、それはまだまだ俯瞰的で概略的なものであり、実践活用までには至らなかった。今年度は、課題解決が可能になった対象者の要因及び解決に至らない課題について調査・分析し現場で活用可能な理論を構築、その理論をいくつかの支援現場で実践し、その成果や課題を共有して発展していくようなステップアップ型の事業として計画した。

Yahoo!基金の助成期間が2022年10月～2023年9月のため、今年度は予定してるネットワーク会議4回のうち2回を実施。コロナ禍により昨年同様オンライン開催とした。

第１回のネットワーク会議では「人間の復興（回復）に必要なものはなんだと思いますか？」というテーマでグループワークを行い、各班で出された意見を全体で共有した。そこで出された意見はヒラエスでマズローの五段階欲求の表に振り分け一覧を作り参加者へ共有した。この会議を経て調査に賛同してくれた全国の団体（個人）がそれぞれ各地で調査を開始（調査内容については下記に記載）。

■第 1 回ヒラエス広域避難者支援ネットワーク会議
～人間の復興（回復）に必要な資源・リソースを見出し実践に繋げる～
■開催日：2022 年 11 月 5 日（土）　13:30～16:30
※Zoom をつかったオンライン開催
＜プログラム内容＞
・グループワーク
テーマ①各団体（個人）の近況報告
テーマ②当事者に伴走して来た立場から見て、人間の復興（回復）に必要なものはなんだと思いますか？
・調査についての説明
講師：松井克浩氏（新潟大学人文学部 人文学科）
　　甲田宗良氏（徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 社会総合科学域 人間科学系 心理学分野）

参加総数:17 名
（内訳／当事者による支援団体：7、311 関連支援団体：5、中間支援団体：1、専門家：1）

第 2 回ネットワーク会議では、実際に調査してみた所感の共有をし、支援フローの骨子作りへと進んだ。支援フローに調査や日頃の支援活動から見えて来たポイントを加え、新たな支援策（案）を構築し共有、実際の支援現場で取り入れてもらいながらパイロット事業をスタートさせた。調査者からの感想や所感の中には「対象者の方の近況がわかった」「対象者から久しぶりに避難のことを話せてスッキリしたと言われた」「12年近い関係でも、調査だからこそ知れた事実があった」などの感想が挙げられた。調査をすることは対象者を深く知る、理解するという作業により、対話が生まれ、コロナ禍により希薄になった関係性が再構築されるなど副次効果が得られた。また、災害から12年たったタイミングでの調査によって対象者が自分の体験を言語化できるようになったということが確認された。

■第 2 回ヒラエス広域避難者支援ネットワーク会議
～人間の復興（回復）に必要な資源・リソースを見出し実践に繋げる～
■開催日：2023 年 2 月 12 日（日）　13:30～16:30
※Zoom をつかったオンライン開催
＜プログラム内容＞
・グループワーク
テーマ①調査実行者による所感
テーマ②アセスメントの手順発表・精査・プロセス案を作る
講師：甲田宗良氏（徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 社会総合科学域 人間科学系 心理学分野）
参加総数:8 団体 16 名
（当事者による支援団体：5、311 関連支援団体：3、専門家：2）

◆調査について◆
調査対象者：東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の広域避難者
調査方法：訪問調査法
調査対象者の条件：

① 30代から60代の男女

② 東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故を契機に広域かつ長期的な避難をした方。

調査期間：2022年12月1日より2023年3月9日

総データ数：74票（有効：72、無効2）

2023年度、これらのデータを社会学、心理学の視点から分析・考察し、新たな支援策へつなげていく。

①『つながる』

・ワークショップ事業（当事者性をもった安全な語り合いの場づくり）

●会員拡充

ホームページはイベント等の告知での活用はしたが、コンテンツの充実までは到達せず、ホームページを活用しての新規会員獲得には至らなかったが、セミナーやネットワーク会議の開催により参加者や参加予定者が若干増えた。

●ヒラエスミーティング・ヒラエスサロンの実施

ミーティング開催

【ヒラエス会員限定】クリスマス会＆忘年会～心も大掃除～

日時：2022 年 12 月 23 日（金）：19 時～21 時

参加人数：9 人

サロン開催

オンライン交流会（セミナー後に開催）

日時：2023年1月28日（土）17時～

参加人数：11名

ネットワーク会議やセミナー開催のタイミングにあわせて実施することで参加しやすいしかけとした。

②『まなぶ』

セミナー事業（当事者・支援者が共に学び合う場づくり）

・会員向けセミナー

原発事故による健康不安に関する話が聞きたいという会員のニーズから、避難者支援における「こころとからだ」に関する包括的な支援を継続してきた医療関係者を招き、具体的な取り組みや原発事故による健康への影響についてのご知見、「健康不安」に向けた支援のあり方について伺った。

センシティブなテーマであった分、質疑の時間に活発的な質疑が行われた。当事者が懸念する健康被害が不可視化されるのではという不安の声があがったが、入り組んだ健康不安に関する整理ができたように思う。
また、セミナー後に講師も含めた交流会ができたことや、当事者、支援者双方の声が聞けたことはとても良かったと思う。定期的にサロンなど気兼ねなく話し合える土壌が必要だと感じた。

■ヒラエスセミナー

『広域避難者が抱えている健康不安』～健康の社会的決定要因の視点～

■開催日：2023 年 2 月 12 日（日） 13:30～15:30

※Zoom をつかったオンライン開催

講師：早川純午氏（愛知県民主医療機関連合会）

参加総数：13 名

・講師派遣
今年度依頼がなかったためなし

③『つたえる』

フォーラム事業（経験をちからへと転化するために伝える場づくり）

今年度は実施せず。Yahoo!基金の助成金の事業年度が2022年10月～2023年9月のため、2023年8月に実施予定。

2）2022 年度　決算報告について

２０２２年４月１日から２０２３年３月３１日まで

（法第 28 条第 1 項関係「前事業年度の財産目録」）

2022 年度　財産目録

2023 年 3 月３１日現在

３１１当事者ネットワーク ヒラエス

科　目　・　摘　要	金　額　（単位：円）		
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金預金			
現金（現金手許有高）	0		
普通預金（ゆうちょ銀行）	2,335,342		
未収金	15,000		
前払費用	11,181		
流動資産合計		2,361,523	
2　固定資産			
備品	0		
敷金	0		
歴史的資料	0		
固定資産合計		0	
資産合計			2,361,523
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
短期借入金	0		
未払金	78,745		
預り金	0		
前受金（会費）	0		
流動負債合計		78,745	
2　固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			78,745
正味財産			2,282,778

（法第 28 条第 1 項関係「前事業年度の貸借対照表」）

2022 年度　会計貸借対照表

2023 年 3 月 3 1 日現在

３１１当事者ネットワーク ヒラエス

科　目	金　額　（単位：円）		
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金(現金手許有高)	0		
普通預金（ゆうちょ銀行）	2,335,342		
仮払金	0		
未収金	15,000		
前払費用	11,181		
流動資産合計		2,361,523	
2　固定資産			
什器	0		
備品	0		
敷金	0		
固定資産合計		0	
資産合計			2,361,523
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
短期借入金	0		
未払金	78,745		
預り金	0		
前受金（会費）	0		
流動負債合計		78,745	
2　固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			78,745
Ⅲ　正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,136,953	
当期正味財産増減額		1,145,825	
正味財産合計			2,282,778
負債及び正味財産合計			2,361,523

（備考）

1　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４番とする。

2　前事業年度の末日現在における資産、負債及び財産を記載する。

（法第 28 条第 1 項「前事業年度の活動計算書」）

2022年度　活動計算書

2022年４月１日から2023年３月３１日まで

３11当事者ネットワーク ヒラエス

科　　目	金　額（単位：円）		
経常収益			
１　受取会費			
正会員個人（3000円×9名）	27,000		
正会員団体（3000円×8団体）	24,000		
賛助会員個人（3000円×7名）	21,000		
賛助会員団体（10000円×2団体）	20,000	92,000	
２　受取寄附金			
受取寄附金	10,500	10,500	
３　受取助成金等			
Yahoo!基金 2022年度　被災地復興調査助成プログラム	1,350,000		
ラッシュジャパン助成金	1,000,000	2,350,000	
４　事業収益			
事業参加費	4,000		
その他目的を達成するために必要な事業	0	4,000	
５　その他収益			
受取利息	13		
雑収益	0		
経常収益計		13	2,456,513
Ⅱ　経常費用			
１　事業費			
(1)人件費			
給料手当	401,000		
交通費	0		
人件費計	401,000		
(2)その他経費			
会議費	11,090		
旅費交通費	170,177		
謝金	602,500		
業務委託費	0		
印刷費	30,200		
消耗品費	4,506		
備品	0		
通信費	91,215		
その他目的を達成するために必要な経費	0		

一般管理費	0		
その他経費計	909,688	1,310,688	
事業費計			
2　管理費			
(1)人件費			
役員報酬			
人件費計	0		
(2)その他経費			
会議費			
その他経費計	0	0	
管理費計			1,310,688
経常費用計			1,145,825
当期経常増減額			
Ⅲ　経常外収益			
1　固定資産売却益		0	
経常外収益計			
Ⅳ　経常外費用			
1　過年度損益修正損		0	
経常外費用計			
当期正味財産増減額			1,145,825
前期正味財産額			1,136,953
次期繰越正味財産額			2,282,778

（備考）１　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４番とする。

【金額内訳書】

未収金　　合計　15,000 円

＜内訳＞会費　えひめ３１１　3000 円　澤上　3,000 円　　服部　6,000 円　　松田　3,000 円

前払費用　　合計　11,181 円

＜内訳＞ＺＯＯＭ使用料（2023 年４月）１ケ月×1842.5 円/月額　　1,842 円

2023 年度サーバー代　　8,085 円　　2023 年度サーバー代　　1,254 円

未払金　　合計　78,745 円

＜内訳＞3 月　長尾　人件費　　76,000 円　　3 月分　携帯電話代　　2,745 円

監査報告書

2023年5月3日

３１１当事者ネットワーク　ヒラエス
共同代表　桜井　野亜　様
　　澤上　幸子　様
　　服部　育代　様
　　藤本　昭則　様

私は３１１当事者ネットワークヒラエス（以下、ヒラエス）の2022年度（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の事業報告書及び計算書類について監査を行った。

・監査意見

(1) 活動計算書は正しく示しているものと認める。

(2) 事業報告書の内容は真実であると認める。

(3) 理事の業務執行に関する不正の行為又は法令もしくは会則に違反する重大な事実はないと認める。

監事　長濱 正　印

以上

第２号議案　2023 年度　事業計画及び予算について

１）2023 年度事業計画について

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで

１．事業計画

2023年4月～2023年9月まではYahoo!基金、ラッシュジャパンの助成金採択済み。

①　つながる：全国の支援団体をつなぐ場づくり　～ネットワーク事業～　　➡YAHOO基金

・ネットワーク会議の実施（全2回予定）
参加数：各20団体程度
対象：ヒラエス会員、広域避難者支援団体、実施地域の行政や社協、その他
内容：調査の分析考察から新たな支援策を構築し、実践へとつなげる場
実施時期：2023年6月（対面@大阪）・8月（オンライン）
対象地域：全国

②　つながる：当事者性をもった安全な語り合いの場づくり　～ワークショップ事業～　➡YAHOO基金

●会員拡充

当団体の基盤となる会員に向けて、ホームページを拡充、また、ネットワーク会議などの事業やそれぞれの会員による口コミなどによって新規会員の拡充を図ります。

●ヒラエスミーティング・ヒラエスサロンの実施　➡ラッシュ

対象：ヒラエス会員
内容：ヒラエスコミュニティは当会員の参画を図り、会員間の交流の事業
　ⅰ会員ミーティング（全2回予定）
　　議決権のある正会員を対象にした会議となります。当団体の事業内容などについて話し合います。
　ⅱ交流サロン（毎月開催予定）
　　オンラインによる会員向けの交流会です。正会員、メンバー会員、賛助会員が参加でき、交流を深める内容です。

③　まなぶ：当事者・支援者が共に学び合う場づくり　～セミナー事業～　　➡ラッシュ

・会員向けセミナー（全1回予定）

会員ミーティングによって提起された問題について、専門家をお呼びしてセミナーを開催します。この内容については、録画したものをHP上の会員専用ページなどに活用する予定です。参加1団体につき、会員の場合は1,000円（一名）、非会員の場合は5,000円（一名）を徴収します。

・講師派遣事業（依頼による）

当団体でこれまで避難当事者でありながら支援活動をしてきた内容や避難当事者の本音などをテーマとした研修に講師派遣

をします。当団体に依頼があり、実施できる内容と判断した場合は引き受けます。

④ つたえる：経験をちからへと転化するために伝える場づくり ～フォーラム事業～ ➡ラッシュ

・フォーラムの開催（全1回予定）

参加数：50名程度（オンライン開催予定）

対象：広域避難当事者、支援者を含めた一般

内容：2022年末より開始した調査の分析考察やそこから策定された支援プロセスの実践の途中経過を交えながら、調査協力を担ってくれている専門家からの話を中心に広域避難者の事態についてのフォーラムを開催します。

■実施スケジュール

2023年8月を予定

■実施場所

ハイブリッド（対面+オンライン）開催

■対象者など

広域避難当事者、支援者を含めた一般

■参加費

会員、避難当事者は無料

2023年10月～Yahoo!基金2年目の助成金を申請予定。

その他活動費を得る手立てを正会員とともに考えながら活動していく。

４．実施体制

氏名	所属／肩書	役割
桜井　野亜	ヒラエス共同代表	組織運営全般
澤上　幸子	ヒラエス共同代表/会計	組織運営全般、会計
服部　育代	ヒラエス共同代表	組織運営全般
藤本　昭則	ヒラエス共同代表	組織運営全般
長尾　紘子	ヒラエス事務局	事務局・管理担当
長濱　正	長濱正税理士事務所/監査	事業及び会計の監査

（法第10条第１項第８号「活動予算書」）

２）2023 年度　予算について

２０２３年度 活動予算書

2023 年４月１日から 2024 年３月 31 日まで

３１１当事者ネットワーク ヒラエス

科目	金額	（単位：円）	
Ⅰ　経常収益			
１．受取会費			
正会員年会費収入（10 人）	30,000		
正会員団体年会費収入（10 団体）	30,000		
賛助会員個人年会費収入（10 人）	30,000		
賛助会員団体年会費収入（1 団体）	10,000	100,000	
２．受取寄附金			
受取寄附金	10,000		
施設等受入評価益	0	10,000	
３．受取助成金等			
助成金（YAHOO 基金）	1,773,206	1,773,206	
４．事業収益			
ネットワーク会議参加費	0		
フォーラム参加費	0		
内部会員向けセミナーの参加費	30,000		
講師派遣事業	0		
その他目的を達成するために必要な事業	0	30,000	
５．その他収益			
受取利息	10		
雑収益	0	10	
経常収益計			1,913,216
Ⅱ　経常費用			
事業費			
（１）人件費			
給料手当	552,000		
人件費計		552,000	
（２）その他経費			
会議費	263,420		
旅費交通費	1,369,747		
環境整備費	70,000		
謝金	314,000		
印刷費	122,700		
消耗品費	41,494		
備品	0		
通信費	9,845		

	業務委託費	30,000		
	その他目的を達成するために必要な経費	0		
	一般管理費	0		
	その他経費計	2,221,206		
	事業費計		2,773,206	
	管理費			
	（１）人件費	0		
	役員報酬	0		
	事務局人件費	0		
	人件費計	0		
	（２）その他経費			
	会議費	0		
	通信費	110,010		
	その他経費計	110,010		
	管理費計		110,010	
	経常費用計			2,883,216
	当期経常増減額			0
Ⅲ	経常外収益			
	固定資産売却益		0	
	経常外収益計			0
Ⅳ	経常外費用			
	過年度損益修正損		0	
	経常外費用計			0
	当期正味財産増減額			▲970,000
	前期繰越正味財産額			1,136,953
	次期繰越正味財産額			166,953

2023 年度　事業別予算

（単位：円）

事業名	①ネットワーク事業 ヤフー基金	②サロン事業	③セミナー事業	④フォーラム事業	管理部門	合計
１．受取会費	0	0	0	0	100,000	100,000
２．受取寄附金	0	0	0	0	10,000	10,000
３．受取助成金等	1,650,000	0	0	0	0	1,773,206
４．事業収益	0	0	30,000	0	0	30,000
５．その他収益	0	0	0	0	10	10
経常収益計	1,773,206	0	30,000	0	110,010	1,913,216
（１）人件費						
給料手当	552,000	0	0	0	0	552,000
人件費計	552,000	0	0	0	0	552,000
（２）その他経費						
会議費	123,420	0	0	140,000	0	263,420
旅費交通費	769,747	0	0	600,000	0	1,369,747
謝金	224,000	0	30,000	60,000	0	314,000
環境整備費	0	0	0	70,000	0	70,000
印刷製本費	62,700	30,000	0	30,000	0	122,700
業務委託費	0	0	0	30,000	0	30,000
支払利息	0	0	0	0	0	0
消耗品費	31,494	0	0	10,000	0	41,494
備品購入費	0	0	0	0	0	0
図書費	0	0	0	0	0	0
通信費	9,845	0	0	0	110,010	119,855
予備費	0	0	0	0	0	0
その他目的を達成するために必要な事業	0	0	0	0	0	0
その他経費計	1,221,206	30,000	30,000	940,000	110,010	2,331,216
経常費用計	1,773,206	30,000	30,000	940,000	110,010	2,883,216